

食文化創造都市推進シンポジウム

鶴岡の豊かな食文化魅力発信



映画「よみがえりのレシピ」を見た。素晴らしい。「やまがた食の甲子園」にも感動した。山形大が食材を調査して「どこかの畑の片すみで」などの本にまとめ、料理家と連携し地域経済を回す取り組みも素晴らしい。山形大のような食材のテキスト化は、来年度の農水省のブランド化事業に入る。イタリアではテキスト調査は当たり前、フランスでは20年前から味覚教育をしている。日本ではやっ

てなかったが、山形が可能にした。高知県では6次産業化を推進している。農家のお母さんたちは料理のレパートリーが少なく、漁業との交流もない。組み合わせればもっと豊かな料理ができるだろうと昨年、漁業者も一緒に高校を借り切り、1日で料理37品目を作った。真空パ

クにすれば、直売所や給食にも出せる。1カ月特訓しそういうことができるようになった。茨城県常陸太田市で「常陸秋そば」をブランド化するときに、よそのソバとどう違うか、いつから作っているか、誰も答えられなかった。農政課の人が1年間調べてテキスト化し、

で年間180万円の人もいる。農業体験のイモで焼酎を作ったら、体験者たちが買う。周囲の観光農園の宣伝、法事、結婚式もやっている。愛媛県今治市のJAおちいまばりの直売所では、完熟イチゴのタルトが人気。これだけで年間売り上げが1億8000万円。東京の

長蛇の列。この店長が参考にしたのが、愛媛県内子町の「フレッシュパークからの」。バーコードで商品管理するシステムを入れた。携帯電話で情報発信し、なくなりそうだとすぐに持つていく。ふるさと創生の1億円を使わず、利子で役所の人をドイトに研修に行かせた。

1コードのシールを張る。阪急のレジも通せ、どこで売れても一括管理している。現金が振り込まれる。全体で売り上げは8億円。少量では売れなかったアケビ、タケノコも売れ、「山が現金に見える」という人もいる。和歌山県田辺市秋津野では、住民400人がお金を出し合って株式会社を作り、廃校を買って農家レストランにした。16万人が来るようになった。直売所「きとら」は20坪で年間売り上げ1億2500万円。農家14軒が連携して農家民宿のツアーもやっている。兵庫県豊岡市ではコシヒカリを環境で売ろうと、栽培体系を作り、環境の取り組みをテキスト化したら、コウフトリが戻ってきた。テキストができ、安全、安心を簡単に伝えられる。42万人が田んぼに来るようになった。

講演

豊かな食が豊かな地域を創る

内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師、食環境ジャーナリスト

金丸 弘美氏

語るようになった。どこに問い合わせても歴史、文化がすべて分かる。プロが買いたいと来て、地元を店は1時間待ちになった。長崎県大村市の直売所「シユシユ」では、季節の果物をシェラーに、パイ、パンも作り、60坪で来店者は年間50万人、売り上げは6億5000万円。まんじゅうを作り91歳

デパートが欲しいと言つてきても売らない。地元のお母さんたちが作り、30人の雇用が生まれた。店頭にはジュースの自販機を置かず、手作りの品を売る。米は毎日精米して給食、ホテルやレストランに配達する。JAの米の半分は直売所で売る。肉、魚もあり、生鮮が全部そろつて。年間150万人が来る。食堂も

農村の古い町並みに客が来ることを学んで帰る。町並みを保存している。年間100万人が来る。島根県のJA雲南は山間地にあるが、売り場は兵庫県の阪急オアシスという高級スーパーにある。農協職員が週1回出張し、高齢者が育てた野菜を売っている。朝に車で集荷し、集落ごとに導入したバ

り方を提案できる先進国の中で作っているのに、それケースになり得る。相沢 日本産米として世界で売られている。欧米でよくある。欧米でよくある。欧米でよくある。

「女将のおへぎ」を始め、食べる人も、作る人も、昔は食材を大切にしよう

「きとら」は20坪で年間売り上げ1億2500万円。農家14軒が連携して農家民宿のツアーもやっている。兵庫県豊岡市ではコシヒカリを環境で売ろうと、栽培体系を作り、環境の取り組みをテキスト化したら、コウフトリが戻ってきた。テキストができ、安全、安心を簡単に伝えられる。42万人が田んぼに来るようになった。

「きとら」は20坪で年間売り上げ1億2500万円。農家14軒が連携して農家民宿のツアーもやっている。兵庫県豊岡市ではコシヒカリを環境で売ろうと、栽培体系を作り、環境の取り組みをテキスト化したら、コウフトリが戻ってきた。テキストができ、安全、安心を簡単に伝えられる。42万人が田んぼに来るようになった。

「きとら」は20坪で年間売り上げ1億2500万円。農家14軒が連携して農家民宿のツアーもやっている。兵庫県豊岡市ではコシヒカリを環境で売ろうと、栽培体系を作り、環境の取り組みをテキスト化したら、コウフトリが戻ってきた。テキストができ、安全、安心を簡単に伝えられる。42万人が田んぼに来るようになった。

「きとら」は20坪で年間売り上げ1億2500万円。農家14軒が連携して農家民宿のツアーもやっている。兵庫県豊岡市ではコシヒカリを環境で売ろうと、栽培体系を作り、環境の取り組みをテキスト化したら、コウフトリが戻ってきた。テキストができ、安全、安心を簡単に伝えられる。42万人が田んぼに来るようになった。



「きとら」は20坪で年間売り上げ1億2500万円。農家14軒が連携して農家民宿のツアーもやっている。兵庫県豊岡市ではコシヒカリを環境で売ろうと、栽培体系を作り、環境の取り組みをテキスト化したら、コウフトリが戻ってきた。テキストができ、安全、安心を簡単に伝えられる。42万人が田んぼに来るようになった。